

## こども園における自己評価結果報告

こども園における自己評価の結果がまとまりましたので、ご報告いたします。  
自己評価の結果を踏まえ、今後の教育・保育の質の向上並びにこども園運営の資質向上に努めて参ります。

A:たいへんよい  
B:よい  
C:一部検討を要する  
D:改善を要する

項目	内容	評価				取り組み状況及び課題
		A	B	C	D	
教育・保育理念	(1) 理念や基本方針が職員に周知されているか		○			<p>・理念や基本方針は、職員には年間指導計画も含めてまとめた冊子を配布し、年間通して確認できるようにしている。しかし、保護者への周知では、保護者アンケートで一部が「全く知らない」と回答があった。その為、園の玄関に理念等を掲示したり、えんだよりや情報誌で子どもの姿からわかりやすく伝えていきたい。</p> <p>・子どものプライバシーや人格の尊重については、園内研修を行い共通理解をしたり、個室トイレにカギの設置や身体計測、着替え、プール遊びなどで配慮したりしている。</p>
	(2) 理念や基本方針が利用者に周知されているか		○			
	(3) 理念や基本方針に基づいた教育保育が行なわれているか		○			
	(4) 一人一人の子どもの人格を尊重した教育保育について共通の理解をもっているか（不適切な保育の防止についての理解）	○				
教育保育の計画	(1) 社会状況や子どもの実態、地域性を考慮し、必要に応じて教育保育課程の見直しを行っているか（全体的な計画）		○			<p>・地域の状況や子ども一人一人の実態を考慮し、計画を見直し、環境構成を工夫しているが、さらによりよい環境となるように保育者間で情報や意見交換を行い実践していく。</p> <p>・保護者アンケートで、子どもの自主性・主体性を大切にしているかの項目で、今年も好評であった。これからも、保育参加やクラスだより等で園での様子や保育者の思いなど保護者にわかりやすく伝えていく。また、ここ数年継続している異年齢での活動にも、好評を得ている。今後も異年齢活動を進め、保護者に伝えていき、職員も研鑽していく。</p> <p>・行事は、子どもが中心となり創り上げていくことを全職員が意識して取り組み、子どもが喜び達成感が味わえるものとなるよう行った。行事の為に行事とならないように、これからも子どもの育ちを考え行っていく。</p>
	(2) 指導計画は、乳幼児の心身の発達を踏まえ、入園から修了までの長期的な視野を持って充実した生活が展開できるように配慮し作成されているか		○			
	(3) 子どもの生活が豊かになるように行事を精選し、子どもの発達を踏まえて、その内容や実施の仕方について見直しを行っているか		○			
子どもの発達援助	(1) 子ども一人一人の健康状態や発育・発達の状態を把握し、職員間にて共有されているか	○				<p>・キッズビューに毎日、子どもの健康状態を記録し、感染症の発生等は業務連絡アプリや終礼等で共有している。健康面や発達面等で気になることがあれば、すぐに看護師に相談する体制を整えている。今年、一件の事故からさらに連絡を密に取り合い全職員で子どもの発育発達を共有できるように努めた。</p> <p>・子どもが楽しく食事できるように、以上児は「から弁」活動や「セレクト給食」などを今年も取り入れた。ランチホールでは、以上児が交ざり合い異年齢で食事をし、給食職員やフリー職員も一緒に食事する等もできた。未満児も、その日に食べる食材を直接見たり触ったり、匂いを嗅いだりする食育活動を行った。</p> <p>・子どもが主体となるよう、活動の工夫はしているが、職員の配置や物的環境の設定に日々、試行錯誤や話し合いを繰り返し活動に取り組んでいる。さらに、資質向上の為、園内外の研修に取り組んでいきたい。</p> <p>・毎朝、所持品の片づけ後に好きな遊びを楽しめるように保育室や保育者の配置などを整えてきた。後半には、2歳児も以上児の遊びに加わり、次年度向け進級や異年齢での関わりがよりスムーズになるよう考えている。一人一人が安心できる環境で過ごせるよう、職員間の連携や共通理解が大切なので、信頼し合い話し合える機会を増やしていく。</p>
	(2) 子どもが安定感をもって過ごし、自分の気持ちを安心して表すことができるよう留意しているか		○			
	(3) 子どもに相応しい食生活が展開されるように、食事について見直しや改善を行っているか	○				
	(4) 子どもが食事を楽しむことができる工夫をしているか		○			
	(5) 子どもが主体的に活動できるような、人的・物的環境が整備されているか		○			
	(6) 子ども一人一人を受容し、理解を深めて働きかけや援助が行われているか		○			
	(7) 健康安全や発達の確保を十分に図り、日々の環境を整えているか		○			
	(8) 子どもが自ら周囲の様々な環境と関わり、発達に必要な体験を積み重ねていけるよう努めているか		○			

項目	内容	評価				取り組み状況及び課題
		A	B	C	D	
	(9)子ども自身が自分を肯定する気持ちを育てていくよう、継続的な信頼関係が築かれているか		○			・子ども一人一人の思いや考えを大切に、良さを認めたり援助したりしている。異年齢の活動の中でも、自分や友だちの良さに気づき絆を深めていけるように声掛けをしている。
	(10)保護者の生活形態を反映した子どもの在園時間の長短、入園時期や登園日数の違いを踏まえ、子ども一人一人の状況に応じた工夫が行われているか		○			・配慮を要する子には、加配担当がさりげなくつくと共に、職員皆で見るよう心掛けている。
	(11)障がいのある子どもが安心して生活できる保育環境が整備され、教育保育の内容や方法に配慮されているか		○			・小学校とは、園児が小学校までの散歩や校内の見学、行事の見学を行ったりし、園での様子を行事やえんだよりなどを通して伝えている。保護者とは、就学に向けていつでも話し合える機会を設けたり、希望者には個人懇談等を行い、就学前の不安の解消や子ども理解に努めている。
	(12)小学校との連携や就学を見通した計画に基づいて、教育保育の内容や方法、保護者とのかかわりに配慮されているか		○			
保護者に対する支援	(1)子どもの発達や教育保育などについて、懇談会などの話し合いの場に加えて、保護者と共通の理解を得るための機会を設けているか	○				・未満児は保育参加(参観)を年3回、以上児は保育参加を2回と運動会や表現会を行った。保護者懇談会は年2回行い、保護者同士が家庭での様子や困り感など話し合う機会となっている。保育参加や参観の中で、子ども主体の教育保育や異年齢活動等を見て頂き、年々好評を得ている。
	(2)虐待に対応できる園内の体制(医療機関、児童相談所など専門機関との連携)の下、不適切な療育や虐待を受けていると疑われる子どもの早期発見及び予防に努めているか	○				・虐待に対応できる体制として、支援機関、相談機関と連携している。
	(3)地域の子育ての拠点として「こども園の開放」「相談・援助」「交流の場の提供」「情報の提供」の支援を行うよう努めているか		○			・今年は週に2回子育て広場を開き、地域への情報誌も発行し、広場の様子や手作りおもちゃの紹介などを発信することができた。校下内の出生数が激減していることで参加する人数も減少しているが、これからも地域の子育て家庭の支援となるように努めていきたい。
教育保育を支える組織的基盤	(1)感染症やその他の疾病の発生予防に努め、看護師の専門性を活かした対応を図っているか	○				・看護師の専門性を活かし、細やかな指導の下、保育者や保護者と連携しながら感染予防対策を随時行っている。急な発熱等の体調不良時には、保護者の迎えを待つ間、保健室で看護師が対応している。
	(2)体調不良、アレルギー疾患等をもつ子どもに対し、適切な対応が行われているか	○				
	(3)避難訓練・安全点検・不審者侵入防止訓練等、子どもの安全確保のための適切な対応が行われているか	○				・毎月の避難訓練は、様々な想定や時間帯で行ってきた。今後も、訓練の様子を適宜保護者にお知らせし周知していき、安心に繋げていく。
	(4)地震などの自然災害に対する防災対策は行われているか	○				
	(5)施設長がリーダーシップを発揮し、職員が教育保育の内容の充実と質の向上を図れるよう努めているか	○				・キャリアパスフレームによる評価や年3回の自己評価を行い、必要に応じてキャリアアップ研修や専門研修に参加している。園内でも毎月の園内研修に職員が参加し、保育の質向上を目指している。
	(6)研修等、教育保育の質の向上を図るべく、自己研鑽への取り組みを積極的に行っているか		○			
	(7)事業計画が職員に周知されているか		○			・事業計画は、在園児や途中入園の保護者に配布はもちろん職員にも配布し周知できるように取り組んでいる。
	(8)事業計画が利用者に周知されているか		○			
	(9)守秘義務の遵守が全職員に周知され、守られているか	○				・個人情報適切に扱い、守秘義務が守られるようにしている。個別の相談には、個室のミーティングルームを使用し話し合いを行っている。連絡帳や口頭等での苦情や要望は、上司に速やかに報告や相談をし、素早く対応している。苦情解決の仕組みは、重要事項説明書やHPで周知されている。
	(10)個人情報を適切に取り扱うとともに、保護者の苦情に対し、早期解決を図るよう努めているか	○				
	(11)苦情解決の仕組みが確立され、保護者等に十分に周知・機能しているか		○			・保護者の意見が述べやすいように、アンケートはすべて匿名で行い、様々な意見を受けている。
	(12)保護者が相談や意見を述べやすい環境を整備しているか		○			
	(13)保育教諭等が主体的に自己評価に取り組み、教育保育の改善が図られているか		○			・自己評価結果は全職員が読み込み、職員会などで課題を明確にして次年度の計画に盛り込んでいる。
	(14)評価結果に基づき組織として取り組むべき課題を明確にし、改善策・改善実施計画を立て実施しているか		○			
施設関係者評価						